

小さな声に耳を傾け 市民の目線を大切に！

まさひろ
山本昌宏



事務所 (発行:市民連合)

〒733-0815広島市西区己斐上4丁目11-14
電話 082-273-4439 FAX 082-559-2702
メール masahironowa@sky.megaegg.ne.jp
URL <http://www.hiroshima1966.com>

ホームページ・Instagram



令和5年度予算特別委員会

子どもの「声にならない声」
女性の「母なる思い」
働く方の「目の前の現状」
高齢者の「今の状況」



令和5年度の
予算特別委員会では
大きく4つのテーマを決め
それぞれの目線で
建設関係と総務関係で
公共交通、災害時の避難
について質疑をしました。

より安心な
市民生活を目指し

建設関係 (昌宏の要望・提案)

- 市民の誰もが安心して利用できる公共交通にすること。
- 広島市の公共交通計画にも「性犯罪等の撲滅について」検討し追記すること。
- 西広島までのアストラムラインの延伸を推し進めること。
- 令和5年度から実施する新井口駅のバリアフリー化事業を確実に進めること。
- JR新井口駅北側の立体横断施設は、令和5年度の完成を目指し進めること。
- 広電の商工センター入口駅のバリアフリー化も検討すること。
- 県道伴広島線、広電己斐団地入口バス停付近から沼田分かれ交差点までの道路整備計画をつくること。



総務関係 (昌宏の要望・提案)

- 今後の災害に備えて、ホテルや旅館等を避難所として迅速に活用できるよう、指定管理者施設やホテル、旅館などと協定締結を要望。
- 本市の施設については、災害時などにおいて特別の事情がある場合には利用料金を無料とする、あるいは通常よりも低廉な料金で被災者が利用できるようにすること。
- 災害時、自宅周辺の市営住宅や民間住宅を借上げ、迅速に仮住宅を提供できるよう関係部局との連携強化を進めること。
- 公共交通機関の犯罪防止の鞆札の導入。
- 押しボタン式通報システム及び防犯カメラの設置費用の一部を補助すること。



市民からの疑問を担当者に聞いてみました。

「アストラムライン延伸、どのように進むの？」

令和元年7月環境影響評価に関する説明会の開催以降の取組は？

環境影響評価の手続として、令和3年度にかけて騒音・振動の測定や動植物の生息状況の把握などの各種項目に係る現地調査を行いました。

現在、調査結果や予測評価の取りまとめを行っています。また、これと併行して、都市計画決定に向け、交通管理者の公安委員会をはじめ、延伸するアストラムラインと近接交差する高速道路管理者のネクスコ西日本と鉄道管理者のJR西日本と協議を行うとともに、軌道法に基づく特許の申請に必要な需要予測の取りまとめなどの準備を進めています。

こうした関係法の手続に加えて、実施設計に必要な路線測量や地質調査なども行っています。

昌宏：「去年は佐伯区、今年は己斐側の21ヶ所で櫓を建て地質調査も急ピッチで行って頂いてますね」



来年度予算で予定していることは？

来年度予算では、トンネルの整備に伴う地下水への影響調査、また地質調査結果を踏まえた橋脚の基礎構造などの検討、さらに環境影響評価の現地調査結果や都市計画素案についての地元説明会の開催に必要な予算などを計上しています。

昌宏：「地元の皆様からも地元説明会の時期を聞かれます。来年度、開催されるのですね」

都市計画素案の地元説明会は、どのようなことを説明して頂けるの？

都市計画素案の説明会では、高架橋やトンネル、駅など都市施設として必要な区域、用地取得の概ねの範囲や事業の進め方などを説明することになっています。

昌宏：「用地取得の概ねの範囲も説明頂けるのですね。よく皆様から何回も聞かれます。」

延伸区間の開業については、広域公園前駅から石内東地区までの区間と、石内東地区からJR西広島駅までの区間とに分けて考えられているが、周辺住民の日常生活に大きく影響を与える用地取得や工事はどのように進めていく予定ですか？

延伸区間は段階的に開業することになっていますが、用地取得については、土地や建物等の権利者との交渉などにより時間を要するため、延伸区間全線を同時に着手していきたいと考えています。工事については、既存区間と早期に接続し、事業効果が発現できるよう、まずは広域公園前駅から石内東地区までの区間を集中して行っていきたいと考えています。

昌宏：「西広島までが一体の事業ということですね。それを聞いて少し安心しました。地元だけではなく、大学の関係者もアストラムラインの延伸を待ち望んでおられます。それを見越してJR西広島駅に看板を出す事を考えておられるとの事でした。」